

作成日 平成13年12月1日
改訂日 平成21年7月13日

標準施工仕様書

製品名 セラファンデ[®]弾性

仕様 -

山本窯業化工株式会社

技 術 部

製品概要

製品名	セラファンテ弾性							合成樹脂 エマルジョン系
性状	10色(A~H色・目地色グレー色・白色)のペースト状							
色調	A色	B色	C色	D色	E色	F色	G色	H色
	目地色グレー	白色						
JIS表示	JIS A 6916 下地調整塗材E(相当品)							
特記	合成樹脂エマルジョン系下地調整塗材							
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。							
適用下地	コンクリート面・セメントモルタル面・ALCパネル・その他各種板・ボード類等。							
適用箇所	屋内・屋外壁面							
荷姿	セラファンテ弾性 16kg/缶							
概要	セラファンテは合成樹脂エマルジョン系ノリワケに工工塗材用の微弾性下地調整塗材で、既調合空の為、混練の手間が省けます。また、乾燥が早く、セメント系フイラーに比べて工期が短縮できます。							
特徴	<p>既調合型のため、混練の手間が省け、取扱いが簡単です。</p> <p>乾燥が早く、セメント系フイラーに比べて工期の短縮が可能です。</p> <p>下地も目つぶし及び吸い込み止め効果を合せ持っている為、ALCパネルをはじめ、各種下地に適用することができます。</p> <p>施工は左官刷毛塗り、ローラー塗り、左官ゴテ塗り、吹付塗りなどの使い分けが可能です。</p> <p>下地に対する接着力が優れ、特に初期接着力に顕著な効果を示します。</p>							

施工上の注意事項

- 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- コンプレッサーは3馬力以上のものご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
- 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入って下さい。
- 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレススプレーガン等を使用して下さい。
- 溶剤系仕上材の可使用時間(セトアップUF(UC)クリヤー、セトアップシリコンM、セトアップシリコンSi)は8時間、(セトアップフッ素クリヤー)は5時間ですので5~8時間で使い切る量として下さい。
- 仕上材の工程内間隔時間はマルチップSi、マルチップF、セトアップUF(UC)クリヤー、セトアップフッ素クリヤーで3時間以上、セトアップシリコンMで4時間以上、セトアップシリコンSiで6時間以内(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- セトアップUF(UC)クリヤー、セトアップシリコンM、セトアップシリコンSi、セトアップフッ素クリヤーは溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- その他の注意事項
 - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
 - ②材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

標準施工仕様

〔1〕 下地の処理について

- 1 コンクリートおよびモルタルなど、新しい面は夏期14日間、冬期21日間以上乾燥、養生させ、含水率10%以下、pH10以下の状態で施工してください。
- 2 表面に付着しているエフロッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜等の汚れはブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。
- 3 型枠離型剤等の油脂類が付着している場合は、シンナーや洗浄液などで除去してください。
- 4 下地の不陸、段違いはサンダーで平滑にして調整し、クラック、ピンホール、巣穴、ジャンカ等は左官工法によって補修し、硬化、乾燥を十分に行ってください。
- 5 下地の取付金具、釘類等は亜鉛メッキなどで防錆処理しているものをご使用ください。

工程		使用材料名と調合割合		所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	下地調整 (コテ塗り)	セラファンデ [®] 弾性 16kg 清水 0.1~0.5kg	0.8~1.3	左官用金鏝	1	16時間以上	
1	下地調整 (刷毛塗り)	セラファンデ [®] 弾性 16kg 清水 0.3~0.7kg	0.8~1.3	左官用刷毛	1	16時間以上	
1	下地調整 (吹付)	セラファンデ [®] 弾性 16kg 清水 0.3~0.7kg	0.8~1.3	器具:リシガン 口径:4~5mm 圧力:390~490KPa	1	16時間以上	
1	下地調整 (ローラー塗り)	セラファンデ [®] 弾性 16kg 清水 0.1~0.5kg	0.8~1.3	ウールローラー	1	16時間以上	

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

塗装上の注意事項

- 1 標準施工仕様に準じて、適当量の清水を加え、粘度調整を行います。
- 2 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 3 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。

安全衛生上の注意事項

水系商品対象

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

作成日 平成22年1月22日
改訂日

標準施工仕様書

製品名 エコファンデ

仕様 -

山本窯業化工株式会社

技 術 部

製品概要

合成樹脂
エマルジョン系

製品名	エコファンテ
性状	白色のペースト状
色調	白色
JIS表示	-
特記	合成樹脂エマルジョン系下地調整塗材
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物（新築・改修）の内外壁面。
適用下地	コンクリート面・セメントモルタル面・プレキャストコンクリート部材・ALCパネル・その他各種板・ボード類等。 シート状砂岩、サイディングボード（窯業系）、コテ塗り仕上（樹脂系、石材調、セメント系）、凹凸仕上（アクリルスタッコ、吹付タイル、弾性タイル）等の旧下地。
適用箇所	屋内・屋外壁面
荷姿	エコファンテ 10kg/缶
概要	エコファンテは中空セラミック配合の合成樹脂エマルジョン系フイラーで軽量かつ断熱性を有する微弾性下地調整塗材で、既調合型の為、混練の手間が省けます。
特徴	既調合型のため、混練の手間が省け、取扱いが簡単です。 塗膜は中空セラミックの空気層を抱き込むため断熱性を有し、また、架橋形樹脂により強靱な塗膜を形成します。 施工は左官刷毛塗り、ローラー塗り、吹付塗りなどの使い分けが可能です。

施工上の注意事項

- 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- コンプレッサーは3馬力以上のものご使用下さい。（セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上）
- 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材（シーラー）を使用して下さい。水系下塗材（シーラー）の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入って下さい。
- 仕上材（トップコート）の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレスプレーガン等を使用して下さい。
- 溶剤系仕上材の可使用時間（セラトップUF(UC)クリアー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi）は8時間、（セラトップフッ素クリアー）は5時間ですので5～8時間で使い切る量として下さい。
- 仕上材の工程内間隔時間はマルチップSi、マルチップF、セラトップUF(UC)クリアー、セラトップフッ素クリアーで3時間以上、セラトップシリコンMで4時間以上、セラトップシリコンSiで6時間以内（気温20℃、湿度65%）として下さい。
- セラトップUF(UC)クリアー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi、セラトップフッ素クリアーは溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- その他の注意事項
 - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
 - ②材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

標準施工仕様

〔1〕 下地の処理について

- 1 コンクリートおよびモルタルなど、新しい面は夏期14日間、冬期21日間以上乾燥、養生させ、含水率10%以下、pH10以下の状態で施工してください。
- 2 表面に付着しているエフロッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜等の汚れはブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。
- 3 型枠離型剤等の油脂類が付着している場合は、シンナーや洗浄液などで除去してください。
- 4 下地の不陸、段違いはサンダーで平滑にして調整し、クラック、ピンホール、巣穴、ジャンカ等は左官工法によって補修し、硬化、乾燥を十分に行ってください。
- 5 下地の取付金具、釘類等は亜鉛メッキなどで防錆処理しているものをご使用ください。
- 6 脆弱塗膜、浮き、剥離などはケン屋サンディング等で除去してください。
- 7 クラックは0.5mm以下の場合はセメントフィラー充填、0.5mm以上の場合はUカット（Vカット）で補修してください。
- 8 高圧水洗で表面の汚れ、付着物などを除去してください。水洗後は24時間以上乾燥させてください。

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	セラ水性シーラーHi 15kg 清水 1.5～4.5kg	0.10～0.15	刷毛 又は ウールローラー 又は エアースプレー、エアレスユニット 吐出量: 1.3～1.6ℓ/min ノズル径: 330mm 口径: 1.0～1.5mm 圧力: 340～440KPa	1～2	3時間以上 3日以内

※ ALCパネル、軽量気泡コンクリート、コンクリートブロック面の施工で1回塗布で不十分と思われる場合は2回塗布します。

ローラー塗装の場合

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
2	エコファンデ 10kg 清水 0～0.2kg	1.4～1.6	砂骨ローラー	2	(工程内) 3時間以上 (最終養生) 16時間以上

刷毛塗りの場合

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
2	エコファンデ 10kg 清水 0～0.2kg	1.4～1.6	左官用刷毛	2	(工程内) 3時間以上 (最終養生) 16時間以上

吹付の場合

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
2	エコファンデ 10kg 清水 0～0.2kg	1.4～1.6	リンガン、万能ガン 口径: 4～5mm 圧力: 390～490KPa	2	(工程内) 3時間以上 (最終養生) 16時間以上

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

塗装上の注意事項

- 1 標準施工仕様に準じて、適当量の清水を加え、粘度調整を行います。
- 2 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 3 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。

安全衛生上の注意事項

水系商品対象

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

作成日 平成13年12月1日
改訂日 平成21年7月13日

標準施工仕様書

製品名 セラファイラーカチオン

仕様 -

山本窯業化工株式会社

技 術 部

製品概要

セメント系

製品名	セラファイアーカチオン
色調	グレー
性状	主材:グレー色粉体 硬化液:乳白色液体
JIS表示	JIS A 6916 下地調整塗材C-1(相当品)
特記	セメント系下地調整塗材
用途	陶磁器タイルの下地調整等
適用下地	コンクリート面・セメントモルタル面・ALCパネル・その他各種板・ボード類等。
適用箇所	屋内・屋外壁面
荷姿	セラファイアー粉体 20kg/袋 セラファイアーカチオン硬化液 4kg/缶
概要	セラファイアーカチオンはセメント系ファイラーで仕上塗材用の下地調整塗材で、陶磁器タイル、金属下地などの調整塗材として最適です。また、保水性がよく、薄塗りしてもドライアウトによるセメントの硬化不良を起こしにくく、吸水性が低い為、耐水強度にも優れています。
特徴	保水性が良く、薄塗りしてもドライアウトによるセメントの硬化不良が起こりにくい。 吸水性が低い為、耐水強度に優れている。 清水の加水量を変えることにより、吹付け、刷毛塗り、しごき塗りなどの使い分けができます。 全面塗装した場合、建築用仕上塗材が一層美しく施工できます。 接着力が優れており、特に初期接着力に顕著な効果を示します。

施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは3馬力以上のものをご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
- 4 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 15 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア塗料ガン、エアレススプレーガン等を使用して下さい。
- 16 溶剤系仕上材の可使用時間(セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi)は8時間、(セラトップフッ素クリヤー)は5時間ですので5~8時間で使い切る量として下さい。
- 17 仕上材の工程内間隔時間はマルチップSi、マルチップF、セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップフッ素クリヤーで3時間以上、セラトップシリコンMで4時間以上、セラトップシリコンSiで6時間以内(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 18 セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi、セラトップフッ素クリヤーは溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 19 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 20 その他の注意事項
①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
②材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

標準施工仕様

〔1〕 下地の処理について

- 1 コンクリート及びモルタルなど、新しい面は夏期14日間、冬期21日間以上乾燥、養生させ、含水率10%以下、pH10以下の状態で施工してください。
- 2 表面に付着しているエフロッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜等の汚れはブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。
- 3 型枠離型剤等の油脂類が付着している場合は、シンナーや洗浄液などで除去してください。
- 4 下地の不陸、段違いはサンダーで平滑にして調整し、クラック、ピンホール、巣穴、ジャンカ等は左官工法によって補修し、硬化、乾燥を十分に行ってください。
- 5 下地の吸水度が非常に高い場合は、あらかじめ散水し、調整して下さい。ALCパネルの場合はセラ水性シーラーAを塗布後セラファイアーで施工してください。
- 6 下地の取付金具、釘類等は亜鉛メッキなどで防錆処理しているものをご使用ください。
- 7 改修の場合は特に旧塗膜の処理を完全に行ってください。

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	セラファイアー粉体	20kg	左官用金鋏	1~2	24時間以上
	セラファイアーカチオン硬化液	4kg			
	清水	1~2kg			
1	セラファイアー粉体	20kg	左官用刷毛	1	24時間以上
	セラファイアーカチオン硬化液	4kg			
	清水	3~4kg			
1	セラファイアー粉体	20kg	器具：リンガン 口径：4~5mm 圧力：390~490KPa	1	24時間以上
	セラファイアーカチオン硬化液	4kg			
	清水	3~5kg			

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

※ 吹付け施工の場合は、必ず吹付けながら、水が引く前に刷毛で下地にすり込んでください。

※ 2mm以上の塗厚による場合は、7日間以上硬化、養生を行ってください。

施工上の注意事項

- 1 セラファイアー粉体20kgに対して硬化液と清水(少量)を加え、ペースト状になるまで攪拌機で混練りを行います。次に標準施工仕様に準じて、適量の清水を加え、粘度調整を行います。
- 2 粉体と硬化液を混合したものは、夏期は1時間以内、冬期は2時間以内に使い切ってください。
- 3 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 4 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。

安全衛生上の注意事項

水系商品対象

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

作成日 平成13年12月1日
改訂日 平成21年7月13日

標準施工仕様書

製品名 セラファイラー弾性カチオン

仕様 -

山本窯業化工株式会社

技 術 部

製品概要

セメント系

製品名	セラファイア-弾性カチオン
色調	グレー
性状	主材:グレー色粉体 硬化液:乳白色液体
JIS表示	JIS A 6916 下地調整塗材C-1(相当品)
特記	セメント系下地調整塗材
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	コンクリート面・セメントモルタル面・ALCパネル・その他各種板・ボード類等。
適用箇所	屋内・屋外壁面
荷姿	セラファイア-粉体 20kg/袋 セラファイア-弾性カチオン硬化液 10kg/缶
概要	セラファイア-弾性カチオンはセメント系ファイア-で仕上塗材用の下地調整塗材で、ヘアークラックに威力を発揮する調整塗材として最適です。また、保水性がよく、薄塗りしてもドライアウトによるセメントの硬化不良を起こしにくく、吸水性が低い為、耐水強度にも優れています。
特徴	保水性が良く、薄塗りしてもドライアウトによるセメントの硬化不良が起こりにくい。 吸水性が低い為、耐水強度に優れている。 清水の加水量を変えることにより、吹付け、刷毛塗り、しごき塗りなどの使い分けができます。 全面塗装した場合、建築用仕上塗材が一層美しく施工できます。 接着力が優れており、特に初期接着力に顕著な効果を示します。

施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは3馬力以上のものをご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
- 4 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入して下さい。
- 15 仕上材(トップコート)の施工にはリシンガンを用いず、必ずエア-塗料ガン、エアレススプレーガン等を使用して下さい。
- 16 溶剤系仕上材の可使用時間(セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi)は8時間、(セラトップフッ素クリヤー)は5時間ですので5~8時間で使い切る量として下さい。
- 17 仕上材の工程内間隔時間はマルチップSi、マルチップF、セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップフッ素クリヤーで3時間以上、セラトップシリコンMで4時間以上、セラトップシリコンSiで6時間以内(気温20℃、湿度65%)として下さい。
- 18 セラトップUF(UC)クリヤー、セラトップシリコンM、セラトップシリコンSi、セラトップフッ素クリヤーは溶剤系塗料であるため、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 19 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 20 その他の注意事項
①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
②材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

標準施工仕様

〔1〕 下地の処理について

- 1 コンクリート及びモルタルなど、新しい面は夏期14日間、冬期21日間以上乾燥、養生させ、含水率10%以下、pH10以下の状態で施工してください。
- 2 表面に付着しているエフロッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜等の汚れはブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。
- 3 型枠離型剤等の油脂類が付着している場合は、シンナーや洗浄液などで除去してください。
- 4 下地の不陸、段違いはサンダーで平滑にして調整し、クラック、ピンホール、巣穴、ジャンカ等は左官工法によって補修し、硬化、乾燥を十分に行ってください。
- 5 下地の吸水度が非常に高い場合は、あらかじめ散水し、調整して下さい。ALCパネルの場合はセラ水性シーラーAを塗布後セラファイアーで施工してください。
- 6 下地の取付金具、釘類等は亜鉛メッキなどで防錆処理しているものをご使用ください。
- 7 改修の場合は特に旧塗膜の処理を完全に行ってください。

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整 (コテ塗り)	セラファイアー粉体	20kg	左官用金鍍	1~2	24時間以上
	セラファイアー弾性カチオン硬化液	10kg			
	清水	0~0.5kg			
1 下地調整 (刷毛塗り)	セラファイアー粉体	20kg	左官用刷毛	1	24時間以上
	セラファイアー弾性カチオン硬化液	10kg			
	清水	0.5~1.0kg			
1 下地調整 (吹付)	セラファイアー粉体	20kg	器具：リンガン 口径：4~5mm 圧力：390~490KPa	1	24時間以上
	セラファイアー弾性カチオン硬化液	10kg			
	清水	1.0~1.5kg			

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

※ 吹付け施工の場合は、必ず吹付けながら、水が引く前に刷毛で下地にすり込んでください。

※ 2mm以上の塗厚による場合は、7日間以上硬化、養生を行ってください。

施工上の注意事項

- 1 セラファイアー粉体20kgに対して硬化液と清水(少量)を加え、ペースト状になるまで攪拌機で混練りを行います。次に標準施工仕様に準じて、適量の清水を加え、粘度調整を行います。
- 2 粉体と硬化液を混合したものは、夏期は1時間以内、冬期は2時間以内に使い切ってください。
- 3 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
- 4 間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、間隔時間を長めにとって下さい。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。

安全衛生上の注意事項

水系商品対象

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 火気のある所では使用しないで下さい。
- 2 塗装中、乾燥中、とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 3 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
- 4 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 6 40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 4 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 5 皮膚に付着した時には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 6 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。